

令和4年度当初予算編成方針

新型コロナウイルス感染症との闘いが続くなか、国難ともいうべき事態を県民の皆さんとともに乗り越え、ビヨンドコロナ・アフターコロナ時代の「幸せの先進地域」を目指した取組みを積極的に進める必要がある。一方、社会保障関係費の増加や公債費の高止まりなどにより、本県を取り巻く環境は厳しく予断を許さない状況にあることから、「選択と集中」により既存事業を抜本的に見直し、重点的に施策を進めていく。

1 県民の命と暮らしを守るための新型コロナへの対応

新型コロナ対策経費（医療提供体制整備、感染拡大防止、生活困窮者支援等）は、財源を精査のうえ所要見込額を要求

2 新規重点経費

- ・「八つの重点政策88の具体策」及び「富山県成長戦略」の推進や「幸せ人口1,000万」の実現に向け、働き方改革やDXの観点を取り入れた斬新で効果的な事業に優先的に配分
- ・県民目線と現場主義を徹底し、民間活力を積極的に導入

3 「事業の抜本的見直し・再構築方式」の導入

（従前の「マイナスシーリング」方式から転換）

- ・新しい生活様式の定着やデジタル技術の進展などの社会情勢の変化を踏まえて、真に県民ニーズに沿うものか、改めてゼロベースで検討
- ・エビデンスを基に既存事業の効果を検証し、市町村・民間企業等との連携、かつ部局横断による効率的・効果的な事業へ抜本的見直し・再構築
- ・12月下旬に見直し・再構築ヒアリングを実施

4 「サンドボックス予算」の継続

現場の視点とアイデアを活かし、新たな課題に迅速・果敢に対応していくため、令和3年度に引き続き、各部局にサンドボックス予算を設定。（令和3年度のサンドボックス予算事業については、効果を検証したうえで令和4年度予算で反映）

5 ふるさと納税等を含めた積極的な歳入確保

ふるさと納税（プロジェクト型や企業版ふるさと納税等）などの活用により、「幸せ人口1,000万」を目指した関係人口の増加と歳入確保を一体的に実施

6 その他

- ・国の予算編成の動向については、今後編成される見通しである補正予算（経済対策）も含めて情報収集に努め、的確に予算要求に反映